

皆さんの大切なものを、
守ります。



市防災会議では、「日光市地域防災計画」を策定しました。計画の概要と災害への備えについて、皆さんにお知らせします。今後は、この計画に基づき、日光市全域に係る災害対策を実施していきます。

日光市地域防災計画とは

この計画は、市民や事業所の皆さんの生命、身体および財産を災害から守るためのものです。計画の構成は、「総論」・「震災対策編」・「風水害等対策編」・「資料編」に分けられています(下図参照)。

地域防災計画に基づく災害対策への主な取り組み

◆ 広大な面積をカバーできる防災体制の充実

国の「防災基本計画」および県の「栃木県地域防災計画」とも連携しており、常に実情に沿った内容とするために、毎年検討を加え、必要に応じて計画の見直しを行います。

策定に当たっては、広報にっこう11月号でお知らせし、市民の皆さんから計画(案)に対する意見を募集するとともに、自治会(自主防災組織)などからも意見をいただきました。この意

見を参考にし、県と協議・調整を行い、計4回の日光市防災会議を経て策定しました。

○ 耐震性が不十分な建物の所有者に指導や支援を行い耐震改修を勧めます。また、公共建築物の耐震性を強化し、震災に強いまちづくりに努めます。

○ 耐震性強化に関する知識を深めていただくために、県と連携し耐震改修相談窓口を開設します。

◆ 総合的な風水害対策

○ 近年の異常気象などにより、全国各地で集中豪雨や台風による風水害が多発しています。都市基盤や治水施設の整備な

どのハード面と、地域との連携による防災体制の充実などのソフト面が一体となった総合的な取り組みにより、河川流域の安全を確保します。

◆ 災害時要援護者対策の推進

○ 近年、災害時要援護者(高齢者や障がいのある人など)が被災する傾向が強まっています。避難支援を行うための要援護者の特定や情報の把握、情報伝達、避難誘導などを迅速に行うための体制づくりに努めます。



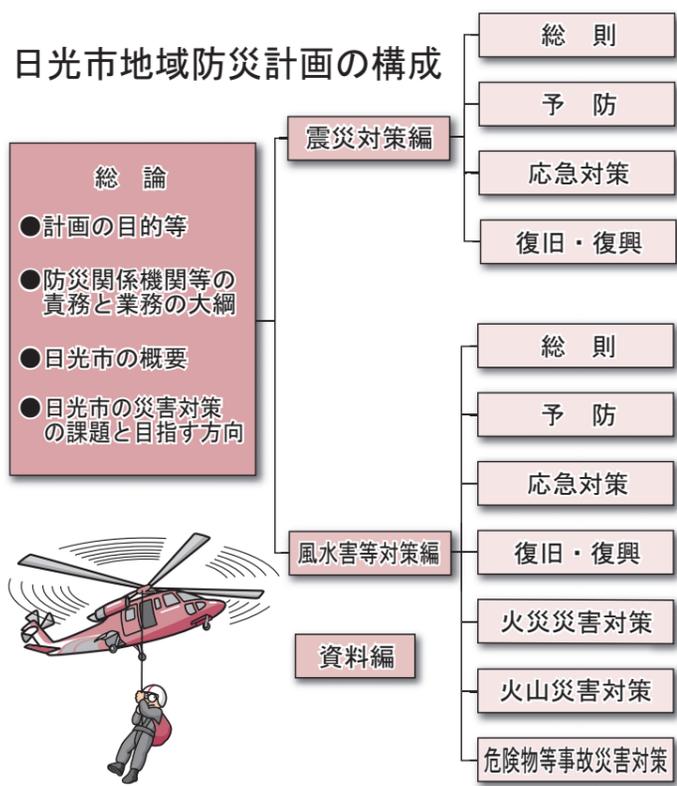
日光市防災会議の様子

◆ 自主防災組織の結成・育成支援

○ 大規模な災害から自分や家族の命を守るためには、個人の力だけでは限界があります。このような場合、地域で協力し合いながら組織的に防災活動に取り組むことが大切です。そのため体制づくりとして、市では「自主防災組織」の結成・育成支援を図ります。

◆ 総合的な震災対策

日光市地域防災計画の構成



◆家庭での備え◆

①防災に関する知識を身に付けましょう

- 震度、マグニチュードなどの知識
- 過去に発生した被害状況
- 災害時に取るべき行動(初期消火、避難勧告など発令時の行動、避難方法、避難所での行動など)
- 応急救護方法の取得
- 防災訓練、講演会への参加

②家族防災会議を開催しましょう

- 避難経路、避難所などの確認
- 非常持ち出し品、備蓄品の選定
- 家族の安否確認方法(N T Tの災害用伝言ダイヤルの活用など)
- 災害時の役割分担(非常持ち出し品搬出、幼児や高齢者に対する責任など)

③非常用品などの準備、点検をしましょう

- 3日分相当の飲料水、食料、衣料品、医薬品や、携帯ラジオ、懐中電灯などの非常持ち出し品の準備や点検
- 消火器、スコップ、大工道具など資機材の整備や点検

④家庭の安全点検、補強を実施しましょう

- 家屋の耐震化、家具の転倒防止、ガラスの飛散防止など

家の防災

防災対策の基本は、普段からの備えに尽きます。自分たちの身の安全を自分たちで守れるよう、自宅に一番近い避難場所の確認や非常時に持ち出す荷物の準備などをしておくことが大切です。また、災害が起きた場合のそれぞれの役割や連絡方法などを話し合う「家族防災会議」を開催すると、災害時に慌てずに行動できます。

そのほか、消防本部で行う防災訓練や講習会に積極的に参加するなど、個人でも災害に対する備えを進めてください。

備えていますか？

非常持ち出し品チェック表

いざというときに備えて、災害時の生活に必要なものを準備しておきましょう。

食料関係	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食(乾パンなど)	
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証	
日用品類	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ラジオ、電池 <input type="checkbox"/> ライター、ナイフ <input type="checkbox"/> 缶切り、ビニール袋、ティッシュ	
衣類など	<input type="checkbox"/> 衣類、下着、手袋 <input type="checkbox"/> 毛布	
救急・安全関係	<input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、絆創膏 <input type="checkbox"/> 薬(胃腸薬、風邪薬) <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん	
その他	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶、紙おむつ <input type="checkbox"/> 眼鏡 <input type="checkbox"/> 入れ歯	

計画の閲覧

今回策定した日光市地域防災計画は、5月以降に市役所本庁舎2階の情報公開コーナーおよび、各総合支所総務課で閲覧することができます。
また、市のホームページにも計画の内容を掲載します。

くわしくは
総務課 行政係

☎(21)5130

地域の防災

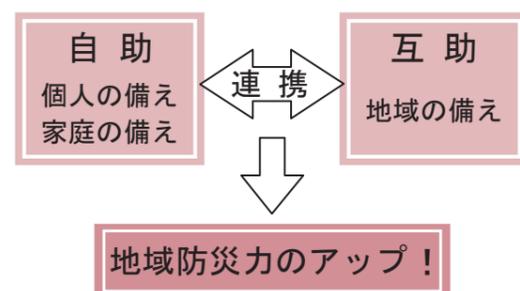
大規模な災害が発生した直後は、情報などが混乱し、防災関係機関による適切な対応が困難になる恐れがあります。そのため地域住民が助け合い、避難や救出救護に努めることが被害の軽減に大きな役割を果たします。

一人一人が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚を持ち、互助の精神に基づく自主防災組織を結成する必要があります。普段から近隣の人たちとのつながりを大切に、地域全体で災害に備えてください。そして災害時には、地域を守るために連携して活動しましょう。



防災訓練に参加する自主防災組織の皆さん。

◆災害に備える地域の体制◆



地域・家庭での防災

地域防災計画では「安全で安心なまち」を実現させるために、市や防災関係機関(消防本部や警察など)のほか、市民や事業所の皆さんが果たすべき責務と役割についても定めています。災害は、いつ発生するかわかりません。災害時に皆さんが冷静に行動できるように、ここでは「地域の防災」と、「家庭の防災」についてお知らせします。

◆地域での備え◆

①危険箇所や避難所などを把握しましょう

- 土砂災害の危険箇所、地域内の危険物集積箇所、延焼拡大の危険がある箇所、ブロック塀の安全度の把握など
- 避難経路、避難所の所在と状態の確認

②防災資機材を整備しましょう

- 地域に応じた情報収集や伝達、救出や救護、避難誘導などのための資機材

③防災の知識・技術を身に付けましょう

- 市や県の研修会などへの参加
- 消防本部などによる救命講習の受講

④自主防災組織などの、連携活動体制を確立しましょう

- 災害時の応急・復旧活動における組織体制の確立
- 関係機関との連携体制の確立

⑤地域の災害時要援護者を把握しましょう

- 市や消防機関との連絡会議や巡回相談・巡回指導による要援護者の把握
- 災害時における要援護者の救助・救護体制の確立